

(1-4) 津波避難対策で必要となる施設対策

施策 1-4-⑫

避難誘導標識・誘導灯の整備

【取組の概要】

避難誘導標識は、避難場所等への円滑な避難を促すため、避難場所の方向・距離を示す標識や海拔表示、想定される津波の浸水深の表示板等を設置するものです。地方公共団体が行う津波避難標識や海拔表示等の整備は、平常時から住民に津波被害の重大さや避難の必要性を周知することにつながり、災害時に避難場所への速やかな移動が可能となります。

また、夜間の避難のため、避難誘導灯の整備も必要です。

【計画、整備にあたっての着眼点・留意点】

- ・津波避難標識や海拔表示等の整備は、住民の防災に対する意識の高揚につながることを期待され、住民から好評を得ることが多いようです。
- ・津波避難標識の整備にあたっては、津波避難計画や津波ハザードマップ等と整合を図る必要があります。
- ・津波避難標識は、来訪者等の土地勘が無い方々への情報提供としても有効な方法であり、来訪者等の視点に立った検討を行うことも必要です。
- ・中部圏の海岸沿いは、海水浴や釣り客、観光客など、外国人を含めた来訪者が多いことから、津波避難標識の整備にあたっては、誰にでも直感的にわかりやすいユニバーサルデザイン（ピクトグラム：絵文字サイン）を採用することが重要です。
- ・避難誘導灯は、あくまでも誘導を図る程度の照度ですが、防犯等の役目を求める住民の意見もあります。

◆参考資料

- ・防災のための図記号に関する調査検討委員会報告書（総務省消防庁、平成17年3月）
- ・消防庁提案の「津波に関する統一標識」図記号のJIS化決定（総務省消防庁報道資料、平成21年3月23日

<http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h21/2103/210323-1houdou.pdf>

【事例】

＜津波に関する統一標識（JIS）＞

【津波避難ビル】



【津波避難場所】



【津波注意】



＜静岡県が定めている津波に関する統一標識の例＞

〔津波に関する統一標識例〕



＜路側標識タイプ＞



＜海拔標識タイプ（電柱）＞



出典：海拔表示デザイン（静岡県危機管理部HP

<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/kaibatu.html>